



第2節 ニーズ調査からみた子育て世代の意識

1、調査の目的

本調査は、「子ども・子育て支援法」関連3法（平成24年法律第65号）に基づく幼児期の、学校教育・保育や地域の子ども・子育て支援を総合的に推進する新たな「子ども・子育て支援新制度」に向けて、5年を1期とする「子ども・子育て支援事業計画」の策定のため、現在子育てをされている家庭の状況や子ども・子育て支援サービスの利用希望を調査し、「子ども・子育て支援事業計画」に反映するために実施しました。

2、調査期間

平成25年12月6日～平成25年12月20日

3、調査の対象

(1) 就学前児童調査

◇調査の対象

- ・対象抽出日：住民基本台帳（平成25年10月1日現在）
- ・小学生就学前児童（0歳～5歳）の保護者（全抽出）

◇調査方法

- ・郵便及び施設を通じて調査票の配布及び回収

調査件数	回収件数	回収率
1,286件	915件	71.1%

(2) 小学生調査

◇調査の対象

- ・対象抽出日：住民基本台帳（平成25年10月1日現在）
- ・小学生就学児童（6歳～11歳）の保護者（全抽出）

◇調査方法

- ・郵便及び学校を通じて調査票の配布及び回収

調査件数	回収件数	回収率
927件	669件	72.1%

4、調査の留意点

- ①集計結果は百分率で算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ②複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回数に対してそれぞれの割合を示しています。そのため合計が100.0%を超える場合があります。



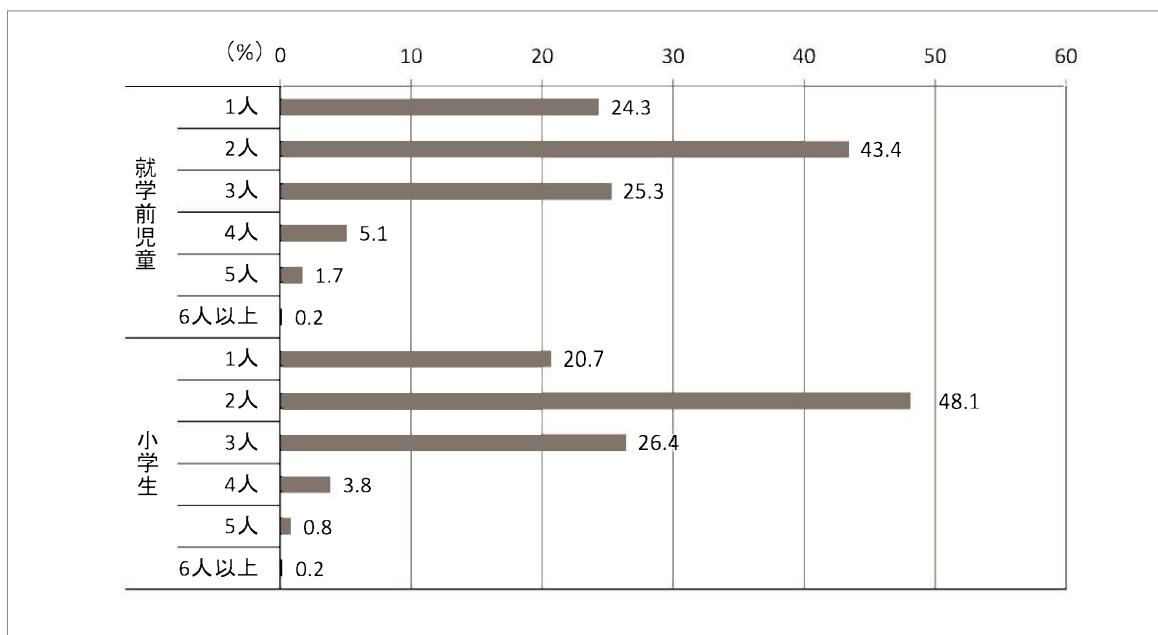
1、子どもやご家族の状況について

問 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。 ※調査対象は1番年下の子（末子）

就学前児童では、「2人」(43.4%)が最も多く、次いで「3人」(25.3%)となっています。

小学生では、「2人」(48.1%)が最も多く、次いで「3人」(26.4%)となっています。

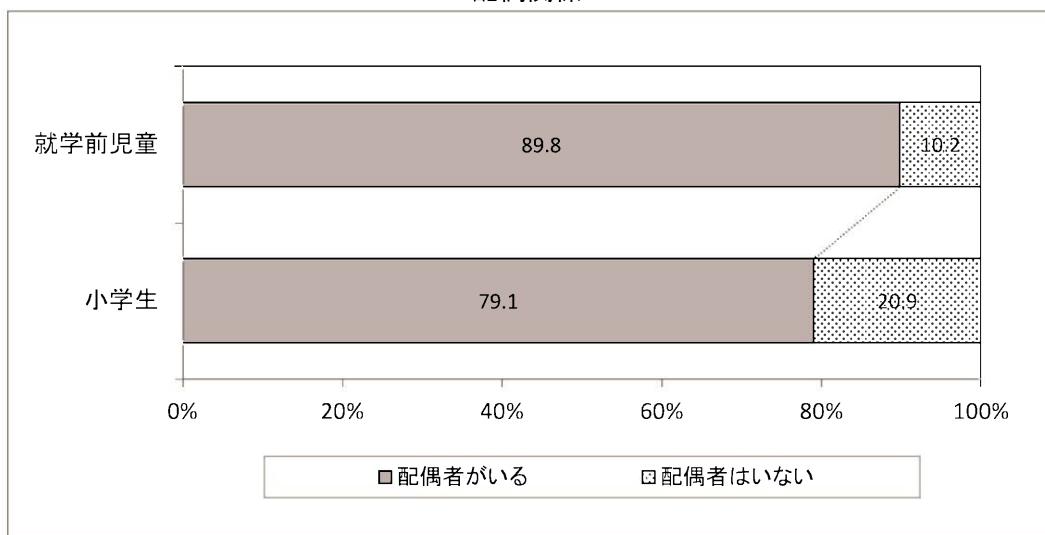
きょうだいの人数



問 調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

就学前児童・小学生共に、「配偶者がいる」(89.8%・79.1%)が多いですが、就学前児童の10.2%、小学生の20.9%は、ひとり親家庭です。

配偶関係

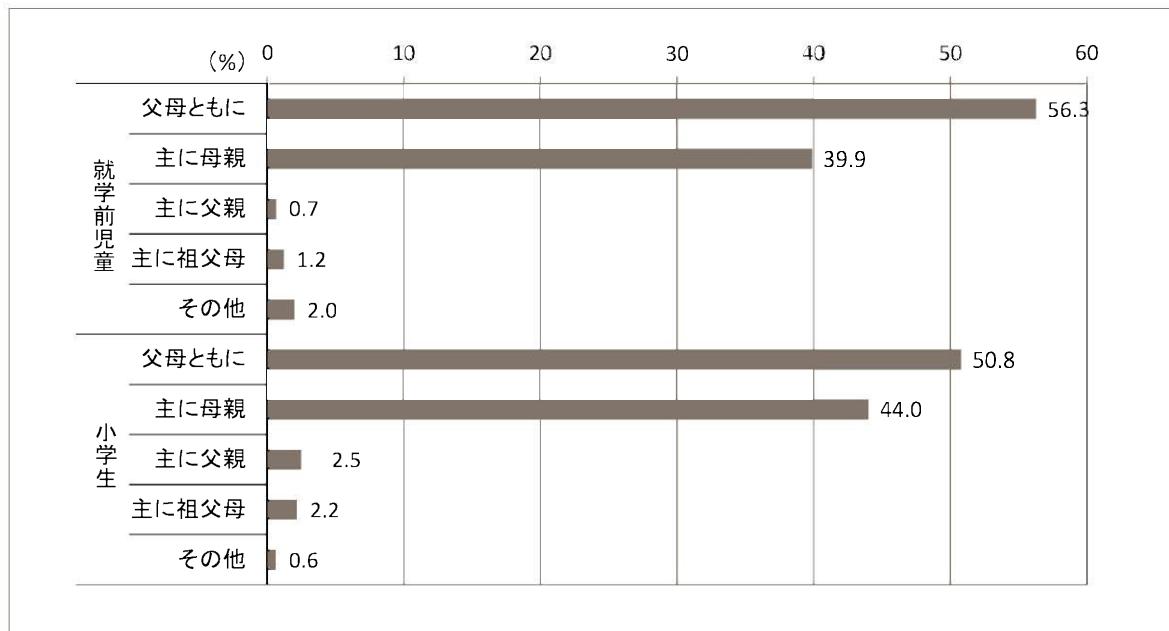




問 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

就学前児童では、主に行っている人は「父母とともに」(56.3%) が最も高く、次に「主に母親」(39.9%) となっています。小学生でも、子育てを主に行っている人は「父母とともに」(50.8%) が最も高く、次に「主に母親」(44.0%) となっています。父親の子育てへの関わりは依然として少ないようです。

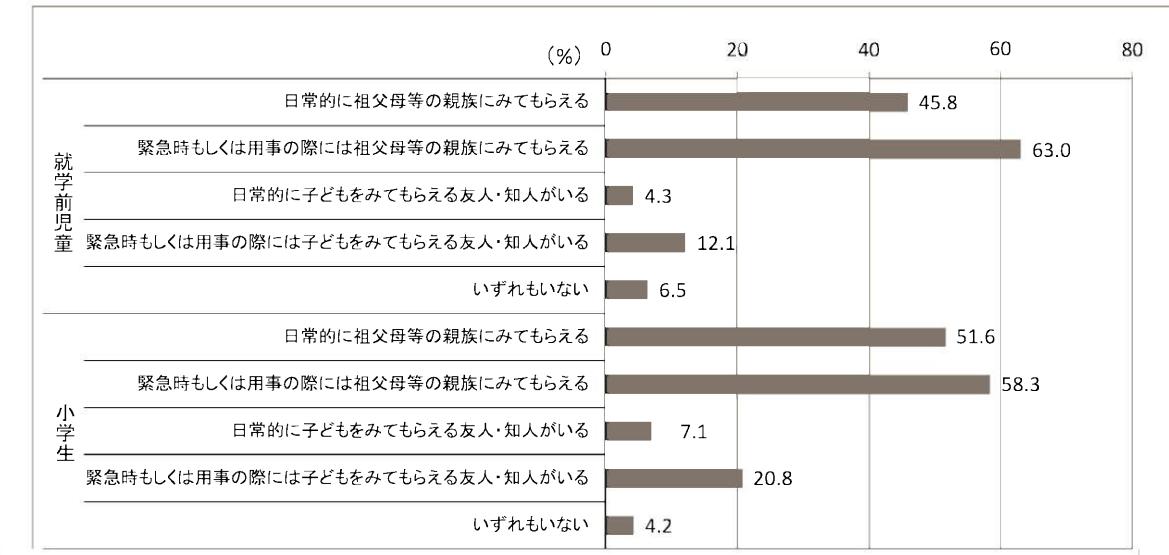
子育てを主に行っている人



問 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（複数回答）

就学前児童・小学生共に、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族」(63.0%・58.3%) が最も高くなっています。また、「日常的に祖父母等の親族」が次に多く (45.8%・51.6%)、「緊急時や用事の際には友人や知人にみてもらえる」は 12.1%・20.8% となっており、身近で見守ってくれる人が多いようです。しかし、いずれもいない就学前 6.5%・小学生 4.2% に対しては何らかの支援が必要です。

子どもをみてくれる人

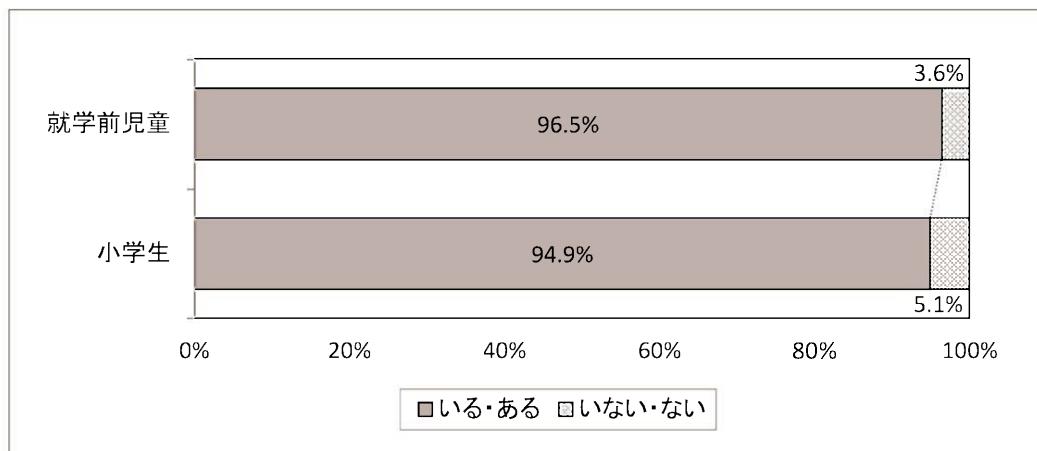




問 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所はありますか。

就学前児童・小学生共に、気軽に相談できる人及び相談できる場所がある人が多く、96.5%・94.9%で、ほとんどの人が相談できる人や場所を持っています。しかし「いない・ない」という3.6%・5.1%の人に対して、「相談できる人」や「相談できる場所」が必要です。

気軽に相談できる人・場所

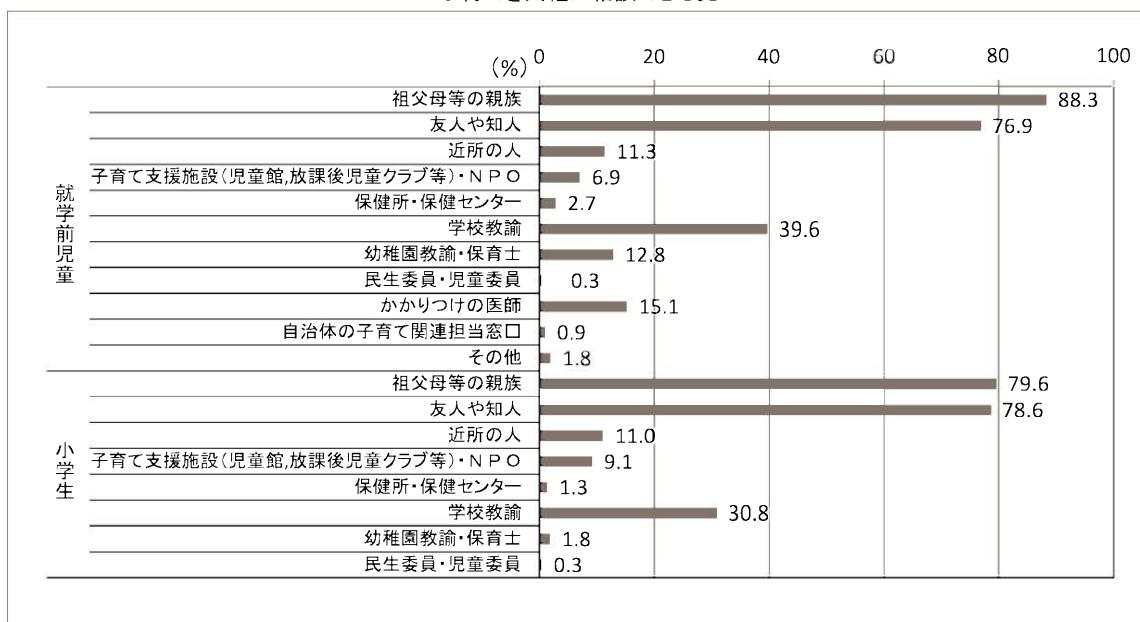


問 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
(複数回答)

就学前児童では、気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族」(88.3%)が最も高く、次いで「友人や知人」(76.9%)となっています。

小学生では、気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族」(79.6%)が最も高く、次いで「友人や知人」(78.6%)となっています。

子育てを気軽に相談できる先

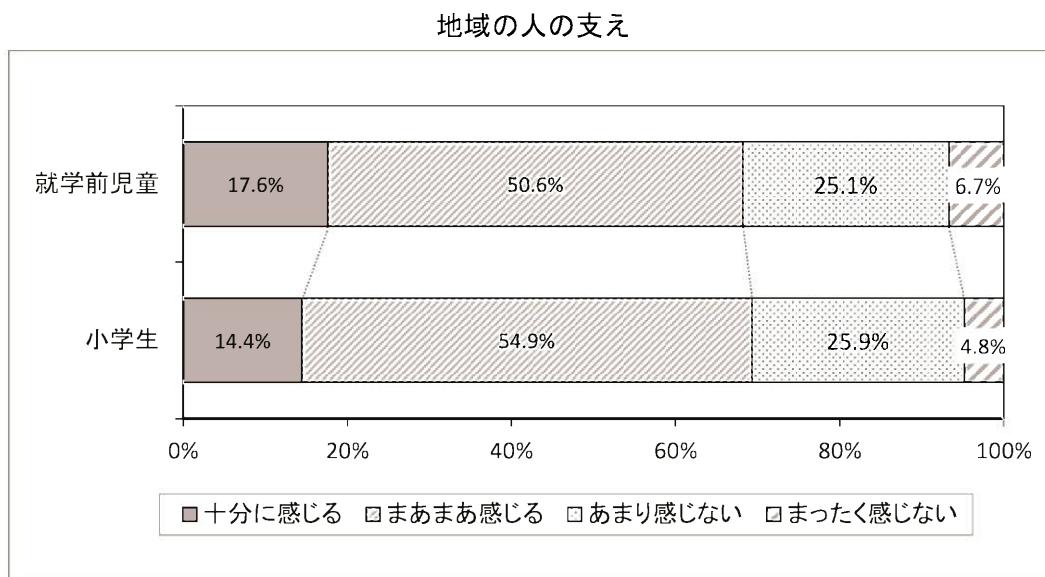




2、子育て満足度（子育てのしやすさ）について

問 子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられていると感じますか。

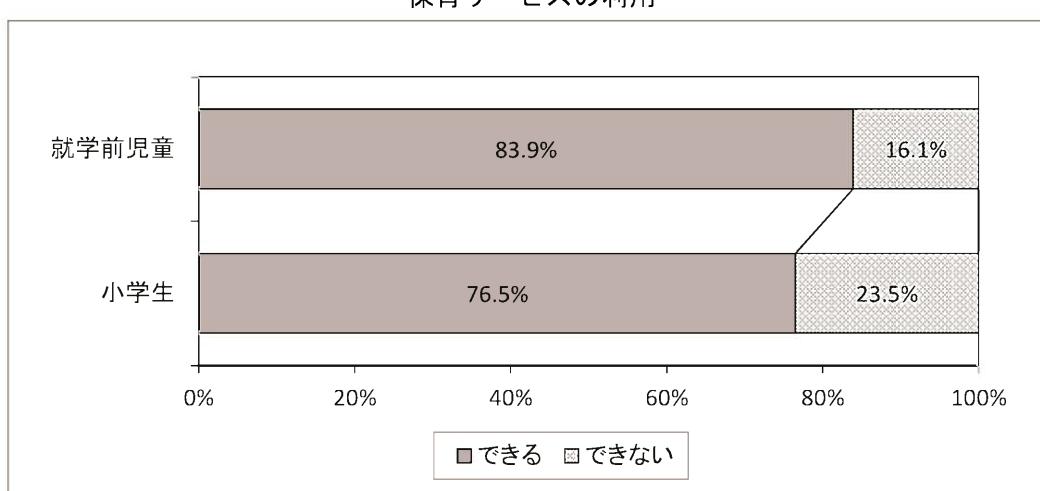
就学前児童では、「まあまあ感じる」(50.6%) が最も高く、次いで「あまり感じない」(25.1%) となっています。小学生では、「まあまあ感じる」(54.9%) が最も高く、次いで「あまり感じない」(25.9%) となっており、「十分に感じる」を入れると、70%弱の人が地域（社会）の人に支えられていると感じています。



問 希望した時期や時間に保育サービスが利用できますか。

就学前児童では、「できる」(83.9%) が最も高くなっています。

小学生では、保育サービスの利用については、「できる」(76.5%) が最も高くなっていますが、できないと感じている要因としては放課後児童クラブが校区がない場合や開所時間への不満が考えられます。保育所入所や一時預かり保育等、就学前の保育サービスは希望者全員の受け入れが出来ていますので、できないと感じている 16.1%の方については周知が必要です。

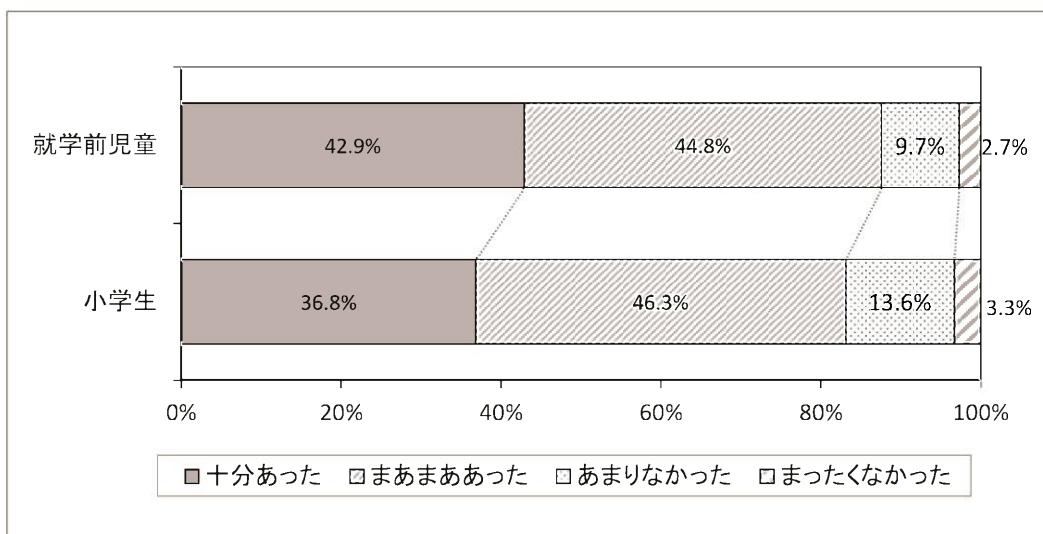


**問 子どもさんの妊娠期から出産までの期間の満足感・充実感はいかがでしたか。**

就学前児童では、「まあまああった」(44.8%) が最も高く、次いで「十分あった」(42.9%) となっており、87.7%の方は満足しています。

小学生では、「まあまああった」(46.3%) が最も高く、次いで「十分あった」(36.8%) となつております。83.1%の方は満足しています。全体的に満足感、充実感は高いといえます。

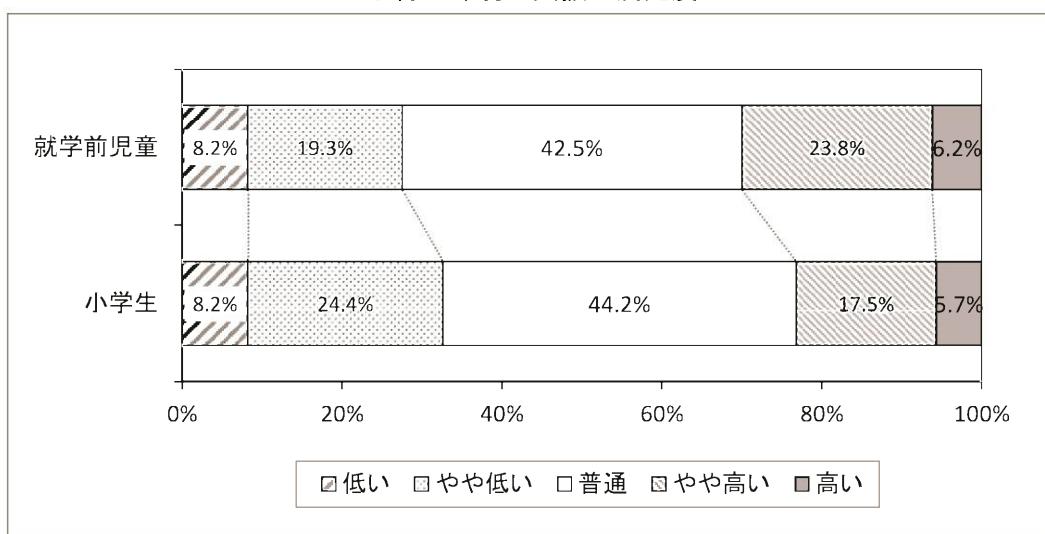
妊娠期から出産までの満足度

**問 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。**

就学前児童では、満足度は、「普通」(42.5%) が最も高く、次いで「やや高い」(23.8%)、「やや低い」(19.3%) となっています。やや不満、不満と感じている人は計 27.5%です。

小学生では、満足度は、「普通」(44.2%) が最も高く、次いで「やや低い」(24.4%)、「やや高い」(17.5%) となっています。やや不満、不満と感じている人は計 32.6%です。

子育て環境・支援の満足度





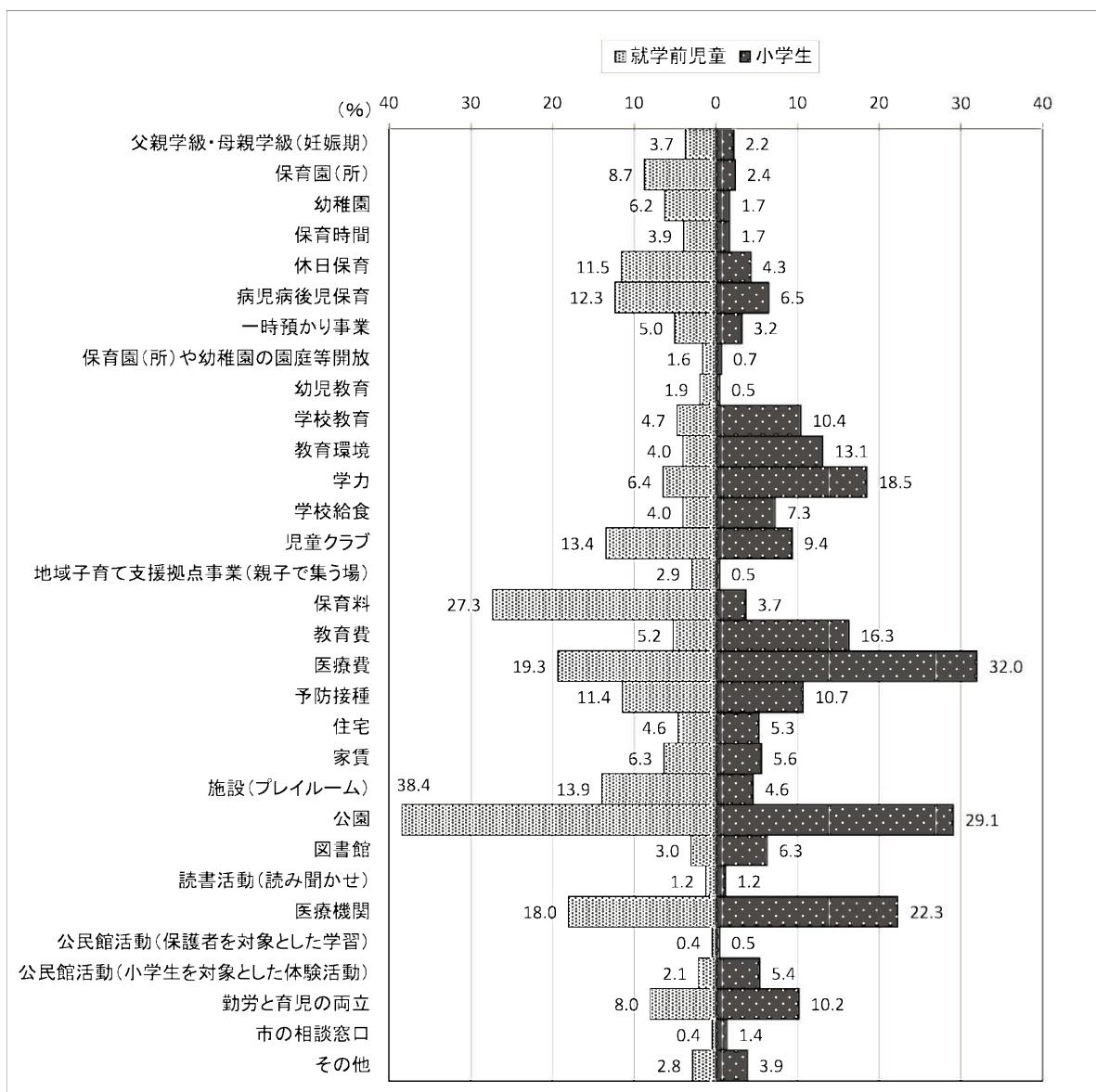
3. 白石市独自質問について

問 下記の白石市の子育て支援等に関する項目の中から、充実させてほしいものを選んでください（上位3つ以内）。

就学前児童では、充実させてほしいものは、「公園」(38.4%)が最も高く、次いで「保育料」(27.3%)、「医療費」(19.3%)となっています。

小学生では、充実させてほしいものは、「医療費」(32.0%)が最も高く、次いで「公園」(29.1%)、「医療機関」(22.3%)となっています。

子育て支援等で充実してほしいもの



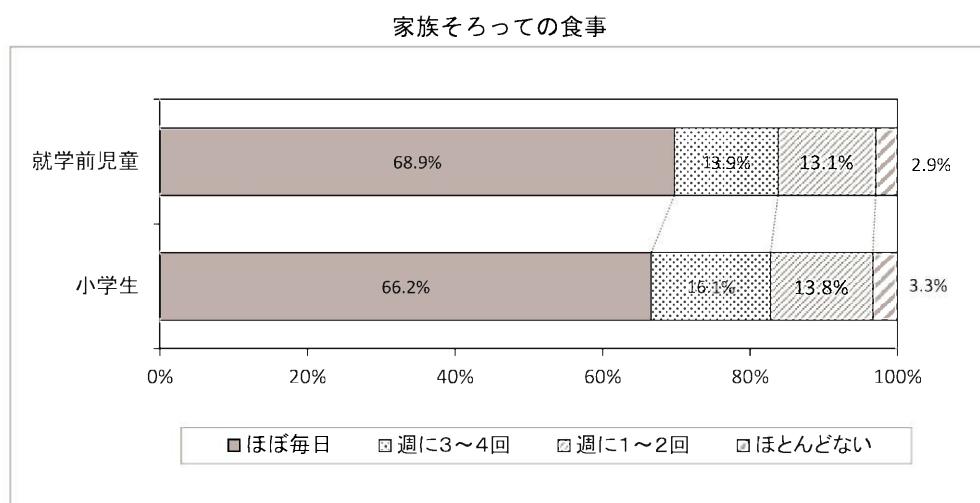


問 家族そろって食事をする日がどのくらいありますか。

就学前児童では、家族で食事する日は、「ほぼ毎日」(68.9%) が最も高く、次いで「週に3～4回」(13.9%)、「週に1～2回」(13.1%) となっています。

小学生では、家族で食事する日は、「ほぼ毎日」(66.2%) が最も高く、次いで「週に3～4回」(16.1%)、「週に1～2回」(13.8%) となっています。

しかし、「週に1～2回」と「ほとんどない」と答えている家庭は、就学前児童で 16.0%、小学生では 17.1% となっています。

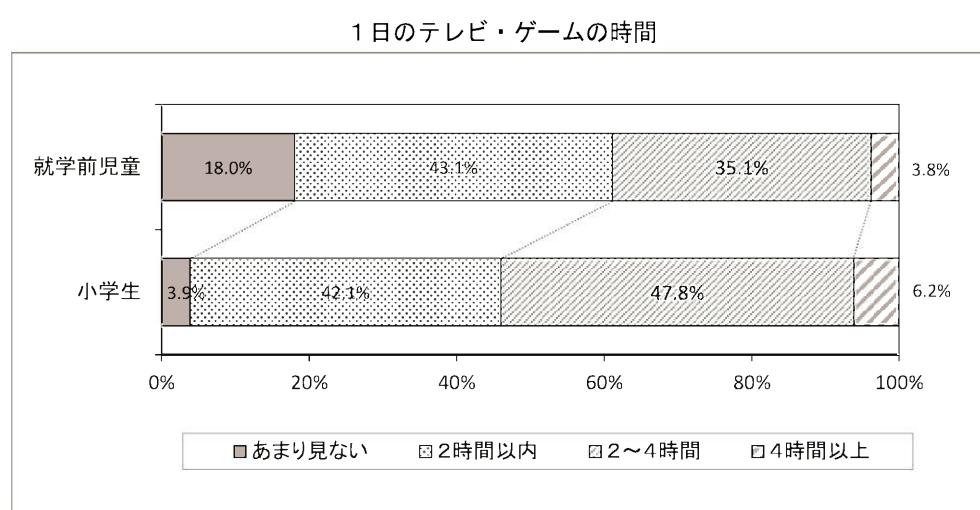


問 お子さんは、1日に何時間テレビを見たり、ゲームをして過ごしますか。

就学前児童では、テレビやゲームの時間は、「2時間以内」(43.1%) が最も高く、次いで「2～4時間」(35.1%) となっています。

小学生では、テレビやゲームの時間は、「2～4時間」(47.8%) が最も高く、次いで「2時間以内」(42.1%) となっています。

「4時間以上」もテレビやゲームの時間がある子どもは、就学前児童で 3.8%、小学生では 6.2% となっています。



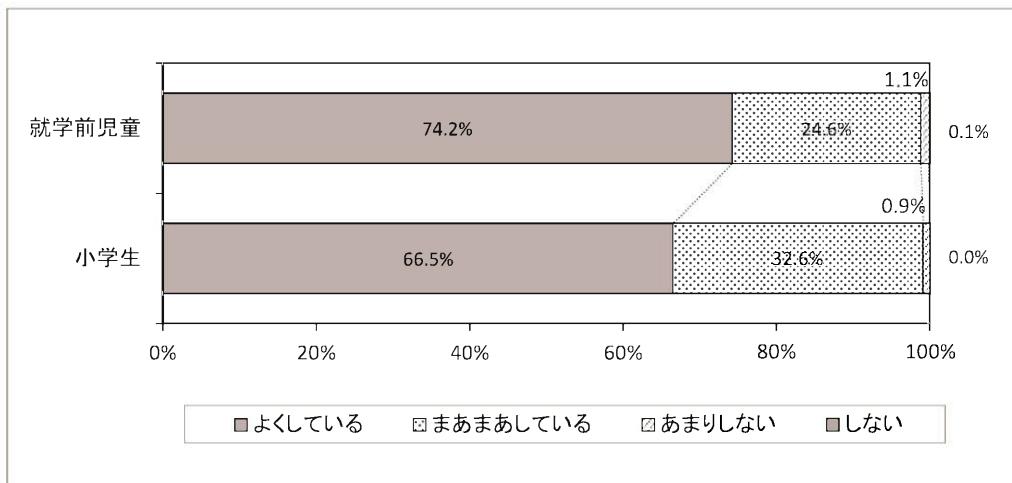


問 お子さんと毎日会話していますか。

就学前児童では、会話については、「よくしている」(74.2%) が最も高く、次いで「まあまあしている」(24.6%) となっています。

小学生では、会話については、「よくしている」(66.5%) が最も高く、次いで「まあまあしている」(32.6%) となっており、子どもとの会話はできているようです。

1日の子どもとの会話

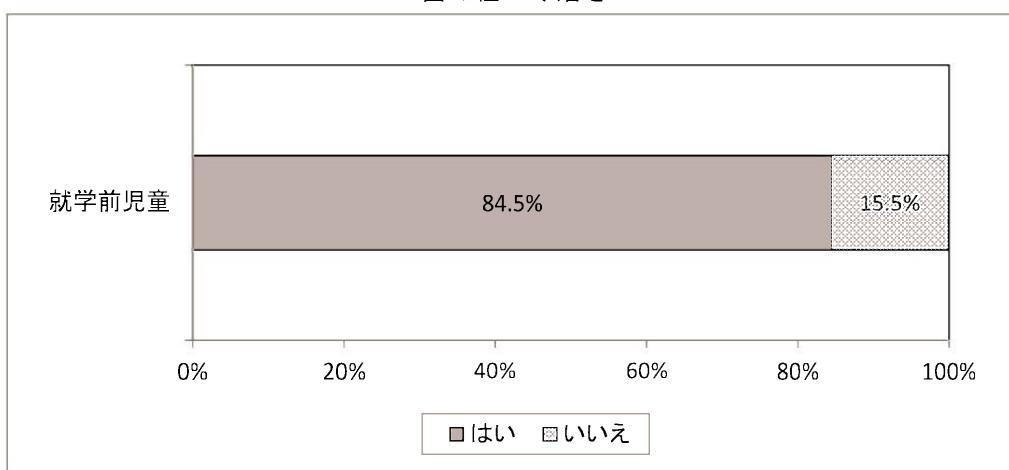


問 親が歯の仕上げ磨きをしていますか。※就学前児童のみ調査対象

就学前児童では、仕上げ磨きをしているかについては、「はい」(84.5%) が高くなっています。

しかし、「いいえ」が 15.5% となっており、乳幼児の仕上げ磨きについての周知の検討が必要です。

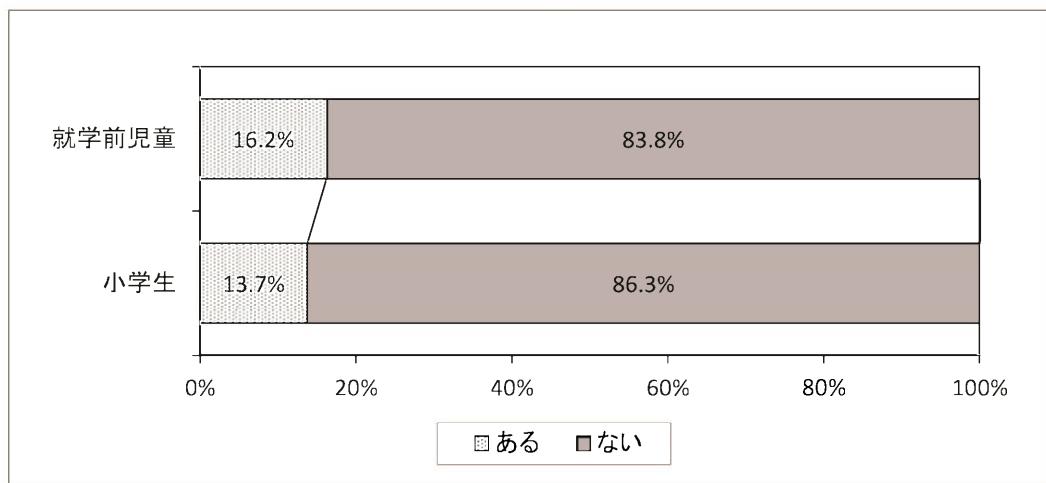
歯の仕上げ磨き



**問 子育てをしていて、「孤立している」と感じたことがありますか。**

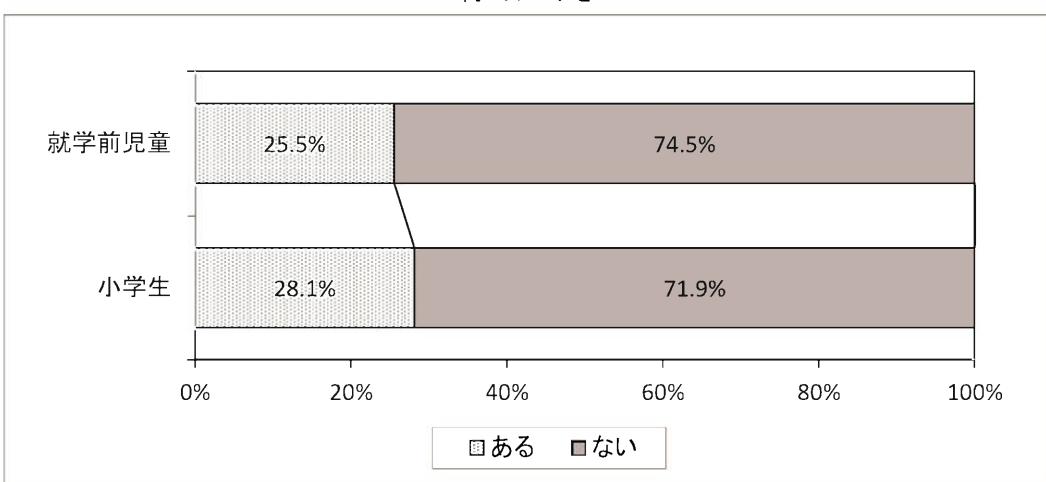
就学前児童では、孤立していると感じたことは、「ない」(83.8%) が高く、小学生でも、孤立していると感じたことは、「ない」(86.3%) が高くなっています。しかし、孤立していると感じたことがある 16.2% (就学前児童) と 13.7% (小学生) の保護者への何らかの支援が必要です。

子育ての孤立感

**問 子育てをしていてお子さんに対し「育てにくさ」を感じたことがありますか。**

育てにくさを感じたことは、就学前児童では、「ない」が 74.5%、小学生では、71.9% で最も高くなっています。しかし、25.5% (就学前児童) と 28.1% (小学生) の保護者は何らかの「育てにくさ」を感じており、乳幼児健診や教育・保育施設および小中学校での支援体制の推進が必要です。

育てにくさ





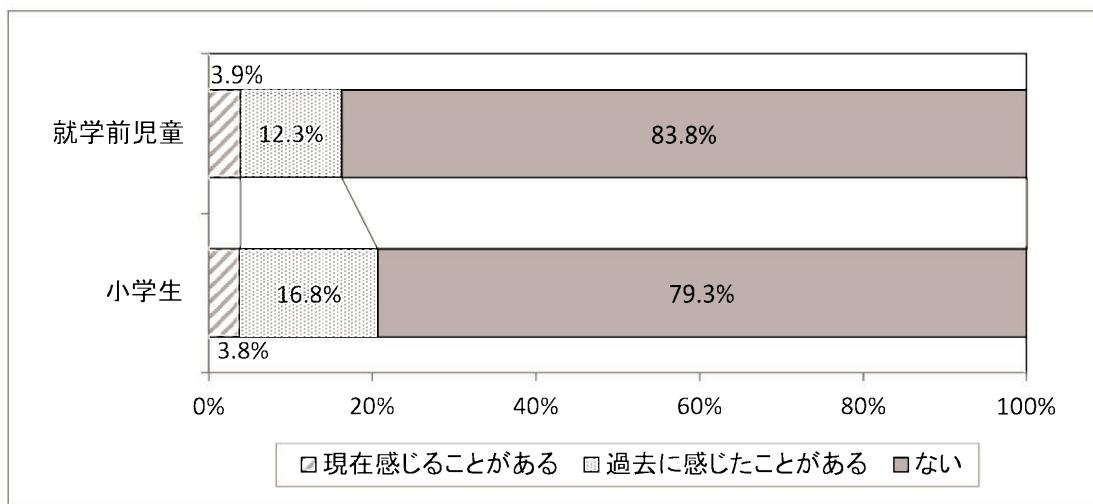
問 配偶者（婚姻関係はないパートナーを含む）をこわいと感じたことがありますか。

就学前児童では、配偶者をこわいと感じたことは、「現在感じることがある」(3.9%)、「過去に感じたことがある」(12.3%)となっています。

小学生では、配偶者をこわいと感じたことは、「現在感じることがある」(3.8%)、「過去に感じたことがある」(16.8%)となっています。

3.9%（約35人・就学前児童）と3.8%（約26人・小学生）の保護者が現在パートナーをこわいと感じている実態が分かりました。

配偶者をこわいと感じたこと

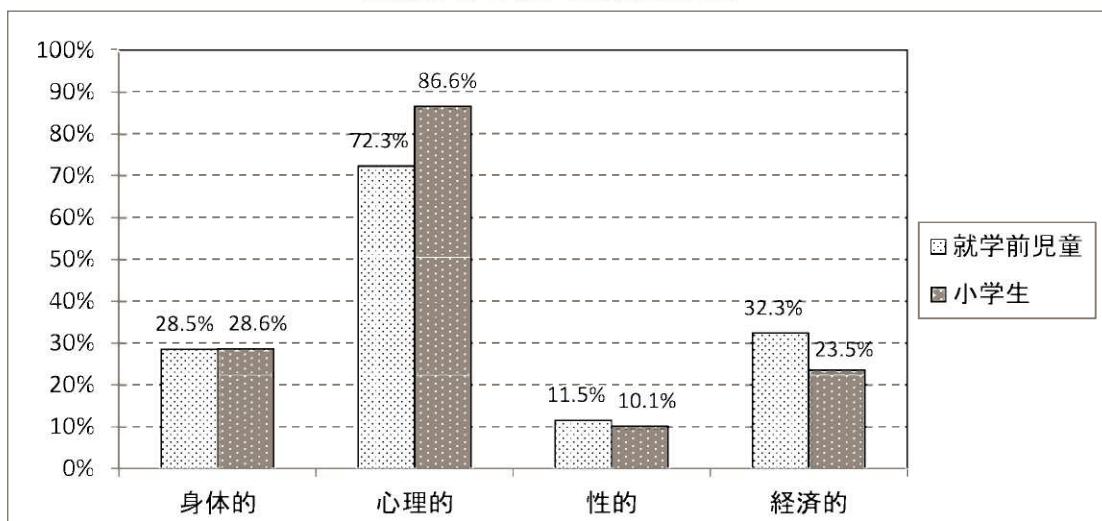


問 配偶者を「こわい」と感じた内容にいくつでも○をつけてください。

就学前児童では、配偶者をこわいと感じた内容は、「心理的（暴言等）」(72.3%)が最も高く、次いで「経済的（生活費を入れない等）」(32.3%)、「身体的（暴力等）」(28.5%)となっています。

小学生では、配偶者をこわいと感じた内容は、「心理的（暴言等）」(86.6%)が最も高く、次いで「身体的（暴力等）」(28.6%)、「経済的（生活費を入れない等）」(23.5%)となっています。

配偶者をこわいと感じた内容



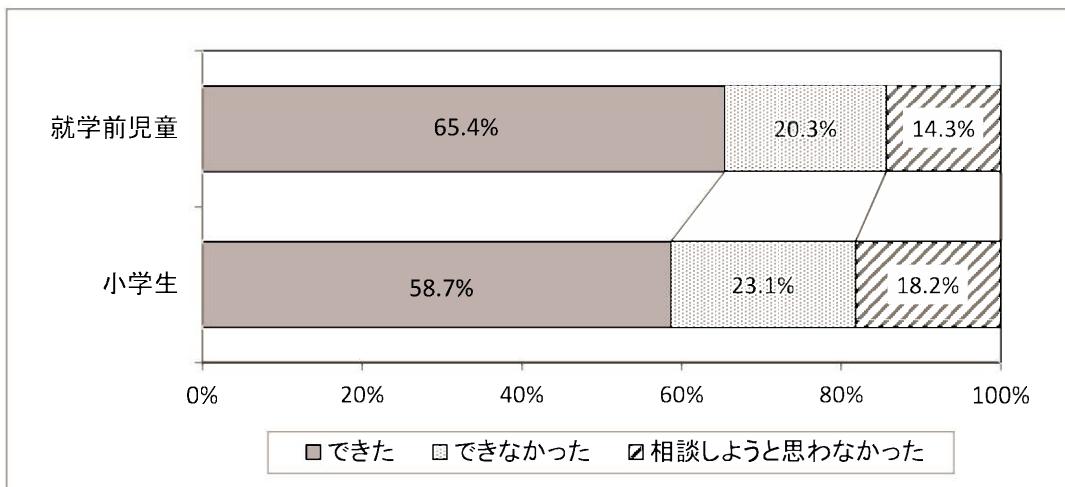


問 その時（配偶者をこわいと感じた時）、誰か（友人・相談機関など）に相談することができましたか。

就学前児童では、相談が「できた」(65.4%) が最も高く、次いで「できなかった」(20.3%) となっています。

小学生では、相談が「できた」(58.7%) が最も高く、次いで「できなかった」(23.1%) となっています。相談できなかった人もいることから、安心して相談できる場所が必要です。

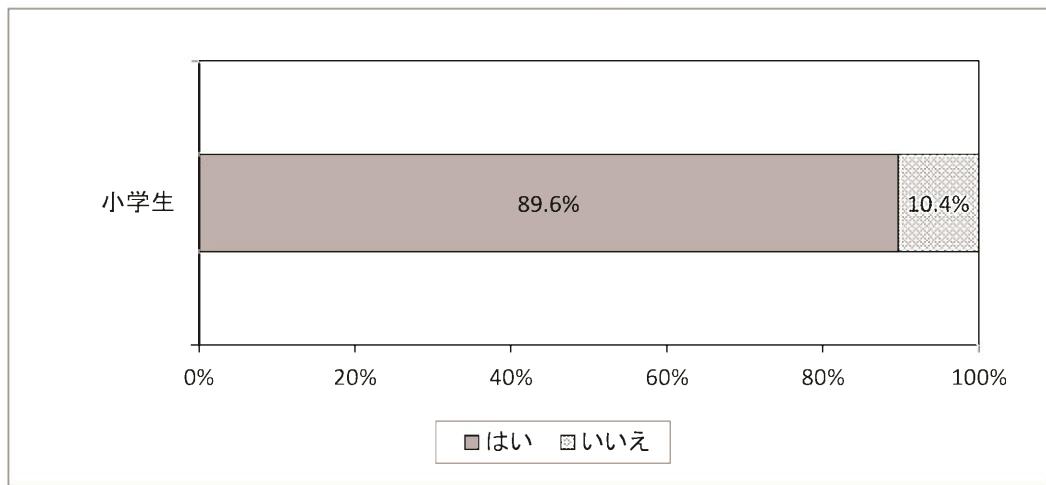
配偶者をこわいと感じた時の相談



問 あなたは命の大切さについて、お子さんに話すことがありますか。※小学生のみ調査対象

小学生では、命の大切さについて話すことについては、「はい」(89.6%) が最も高くなっています。家庭で命の大切さを話題にしている家庭が多いようです。

命の大切さを話す





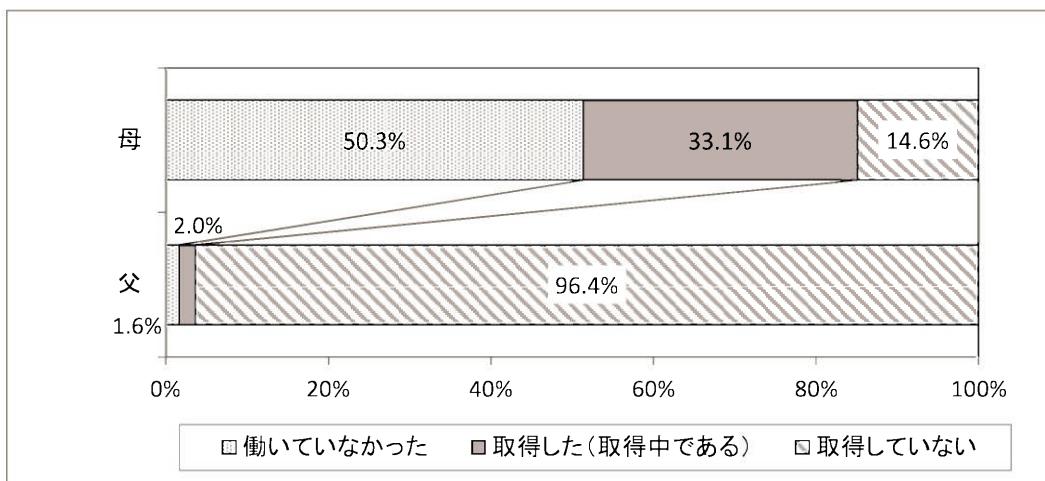
問 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

※小学生のみ調査対象

小学生では、育児休業取得者は、母親では、「取得した」(33.1%)、父親では、「取得した」(2.0%)となっています。

※育児休業を取得していない理由について、母親は、「子育てや家事に専念するため退職した」(36.6%)、父親は、「仕事が忙しかった」(37.1%)が最も高くなっています。

育児休業の取得





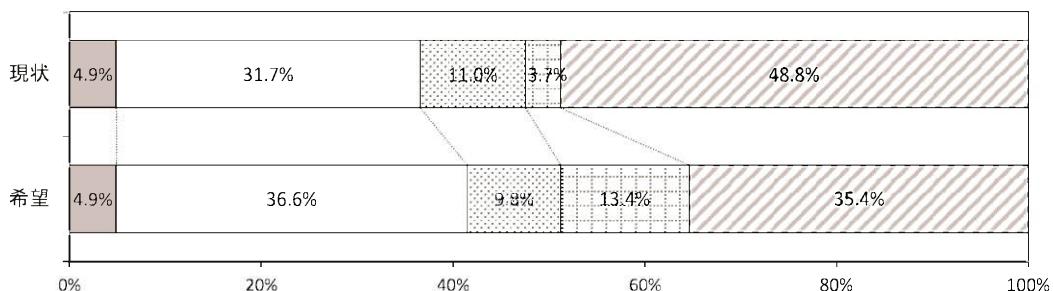
就学前児童の保護者における現在の就労状況と今後の希望

ニーズ調査によって得られた父親・母親の働き方の状態別に、国の基準に則って、8つの区分に類型化を行い、働き方の現状と希望を比較しました。末子が0歳児では48.8%の母親が就労していませんが、そのうち13.4%が就労を希望しており、1・2歳児の専業主婦率は23.9%、3歳児～就学前児では14.8%で、末子が3歳以上になると85%の家で両親が就労しており、保育ニーズは年々高くなっています。

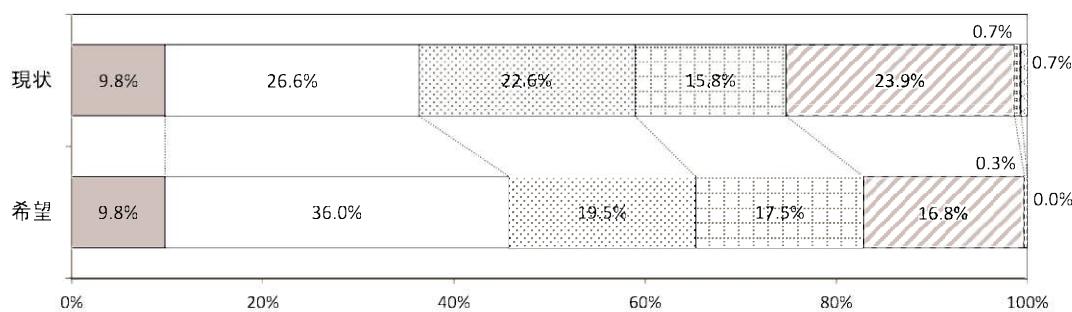
<凡例>

- ひとり親
- フルタイム×フルタイム
- ▨ フルタイム×パートタイム①（月120時間以上＋下限時間～120時間の一部）
- ▨ フルタイム×パートタイム②（下限時間未満＋下限時間～120時間の一部）
- ▨ 専業主婦（夫）
- ▨ パート×パート①（双方月120時間以上＋下限時間～120時間の一部）
- パート×パート②（いずれかが下限時間未満＋下限時間～120時間の一部）
- 無業×無業

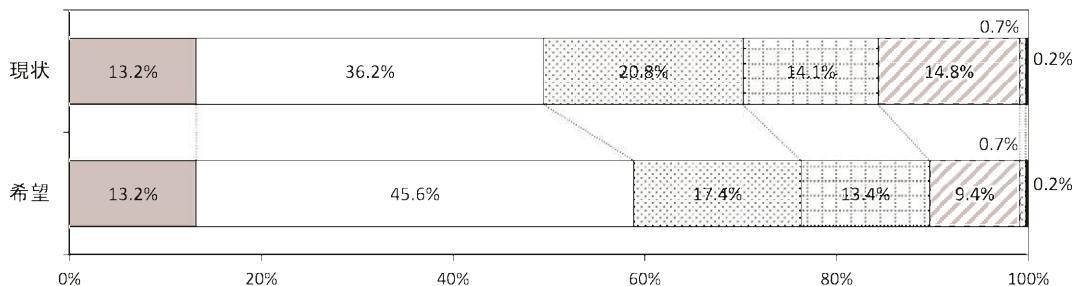
【0歳児】



【1・2歳児】



【3歳～就学前児】





第3節 『すくすく健やか県杵っ子育成プラン』後期行動計画の検証

計画レベルの評価指標と目標

指標	現状 (平成21年度)	目標 (平成26年度)	現状 (平成25年度)	達成率	状況
計画レベルの評価指標と目標					
当杵市は子育てしやすいと実感する人の割合	就学前児童保護者	38.30%	50.0%以上	30.0%	60%
	小学生保護者	36.30%		23.2%	46.4%
施策レベル「地域における」の評価指標と目標					
子育てが地域の人にもしくは社会で支えられていると感じる	就学前児童保護者	67.50%	80.0%以上	64.8%	81%
	小学生保護者	74.00%		67.6%	84.5%
子育てについて、気軽に相談できる近所の人や友人かいいる	就学前児童保護者	89.60%	90.0%以上	96.0%	106%
	小学生保護者	85.80%		94.0%	104%
希望した時期や時間に子育て支援サービスが利用できる	就学前児童保護者	78.80%	80.0%以上	76.8%	96%
	小学生保護者	49.50%	55.0%以上	76.5%	139%
施策レベル「母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進」の評価指標と目標					
妊娠期から出産までの期間の満足感・充実感が十分・まあまああつた	就学前児童保護者	87.20%	90.0%以上	82.2%	91.3%
	小学生保護者	89.70%		79.3%	88.1%
朝食を毎日食べる	小学生	93.70%	100%	91.2%	91.2%

事業レベルの評価指標と目標

事業名	(平成21年度)	目標 (平成26年度)	現状 (平成25年度末)	達成率	状況
目標1 地域における子育ての支援					
地域振興協議会の設置	2ヶ所	19ヶ所	11ヶ所	57%	
子育て支援拠点事業	3ヶ所	5ヶ所	4ヶ所	80%	
保育所地域活動事業	10ヶ所	10ヶ所	9ヶ所	90%	
通常保育事業(保育所)	10ヶ所	10ヶ所	10ヶ所	100%	達成
	750人	750人	795人	106%	
延長保育事業	10ヶ所	10ヶ所	9ヶ所	90%	1園は小規模でニーズ無
	174人	174人	466人	267%	
一時預かり事業	4ヶ所	5ヶ所	9ヶ所	180%	達成
一時保育事業(市単独)	2,445人	5,700人	4,668人	82%	
乳児保育促進事業	10ヶ所	10ヶ所	10ヶ所	100%	達成
障害児保育事業 (軽度障がい児を含む)	10ヶ所	10ヶ所	10ヶ所	100%	達成
	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	100%	達成
休日保育事業	20人	20人	74人	370%	達成
	0ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	100%	達成
病児・病後児保育	0人	1,300人	800人	61%	
	11ヶ所	15ヶ所	9ヶ所	69%	H21:16校中11ヶ所 H25:13校中9ヶ所
放課後児童クラブ	523人	540人	555人	102%	
目標2 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進					
学校給食で使用する給食惣の野菜	30%	40%	34%	85%	
施策目標3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備					
「生命の先生」派遣事業	2ヶ所	2ヶ所	1ヶ所	50%	
外部講師派遣事業	2ヶ所	4ヶ所	6ヶ所(全中学校)	150%	達成
放課後子ども教室	3ヶ所	全小学校	全小学校	100%	達成
日本泳法山内流の継承(実施小学校)	15校	14校	13校	100%	全13校のため
施策目標7 要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進					
家庭児童相談員の配置	2人	2人	2人	100%	達成
母子自立支援員の配置	1人	1人	1人	100%	達成